

## 教員公募に係る応募書類の記入要領

### I. 履歴書

#### 1. 「氏名」欄

- ①略字等を使用せず、住民票等に記載されている表記で記入してください。
- ②外国籍の方は、パスポートに記載されている表記で氏名を記入してください。

#### 2. 「性別」欄

- ①「男」または「女」を記入してください。

#### 3. 「本籍地」欄

- ①都道府県のみ記入してください。
- ②外国籍の方は、国名を記入してください。

#### 4. 「生年月日」欄

- ①生年月日は西暦で記入してください。(以下、年は西暦で記入してください。)
- ②年齢は記入日現在の年齢を記入してください。

#### 5. 「E-Mail」欄

- ①日常使用する(通常、一日最低一回はメールチェックを行うもの)メールアドレスを記入してください。

#### 6. 「電話」欄

- ①日中連絡の取れる電話番号を記入してください。(携帯電話をお持ちの方は必ず記入してください。)

#### 7. 「現住所」欄

- ①郵便番号および都道府縣市町村番地を記入してください。

#### 8. 「学歴・学位」欄

- ①高等学校卒業以上の学歴(大学の別科及び専攻科を含む。)を有する場合、全ての学歴を記入し、それらの学歴を有していない場合は、最終学歴を記入してください。
- ②記入に際しては、卒業証書等を確認し、大学の学部、学科、専攻、コースおよび大学院の研究科、課程、専攻、コースを正確に記入してください。
- ③卒業、修了、中途退学等を省略せずに明記してください。(博士課程を出て博士号を

取得していない方の学歴は、「単位取得満期退学」等と記入してください。）

- ④学位・称号の授与年月日、授与大学名を明記し、学位については、名称（「〇〇博士」または「博士（〇〇）」等）を正確に明記してください。

《記入例》

- 1981年3月 〇〇高等学校〇〇科 卒業  
1981年4月 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 入学  
1985年3月 同上 卒業  
1985年4月 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 修士課程 入学  
1987年3月 同上 修了（〇〇修士）  
1987年4月 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 博士後期課程 入学  
1990年3月 同上 修了（または単位取得満期退学）  
1991年8月 〇〇博士（〇〇大学）

## 9. 「職歴」欄

- ①非常勤講師を含めた全ての職歴を記入し、職名、地位等についても明記してください。また、自営業、主婦、無職等も省略せずに明記してください。
- ②各職歴については始期及び終期を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。
- ③大学等の教員（非常勤講師を含む）の職歴については、主な担当科目を（ ）で付記してください。
- ④研究者としての留学、海外研修、研究生等も記入してください。
- ⑤留学、海外研修等については、渡航先国名、大学名または研究機関名等を明記してください。
- ⑥過去の文部科学省の教員審査において教員の資格があると認められた方は、当該教員審査に係る審査年月・大学名・職名及び担当授業科目名を記入してください。大学院については判定結果（Dマル合、D合、Mマル合、M合、可）を明記してください。

《記入例①》

- 1984年4月 1日 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 助手（1986年3月31日まで）  
1986年4月 1日 同上 講師（〇〇学）（1991年3月31日まで）  
1988年4月 1日 〇〇国〇〇研究所 客員研究員（1989年3月31日まで）  
1991年4月 1日 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 非常勤講師（〇〇学）（1992年3月31日まで）  
1991年4月 1日 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 准教授（〇〇学）（2005

年3月31日まで)

2005年4月 1日 同上 教授 (〇〇学) (現在に至る)

2005年9月27日 大学設置・学校法人審議会の教員組織審査において〇〇大学大学院〇〇研究科(博士課程)専任教授「〇〇学」「〇〇学特講」Dマル合の資格有りと判定

《記入例②》

1984年4月1日 〇〇株式会社 入社 (〇〇部〇〇課配属)

1988年4月1日 〇〇株式会社〇〇部〇〇課 係長(1997年3月31日まで)

1997年4月1日 〇〇株式会社〇〇部〇〇課 課長(2005年3月31日まで)

2005年4月1日 〇〇株式会社〇〇部 部長 (現在に至る)

2005年4月1日 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 非常勤講師 (〇〇学) (2006年3月31日まで)

2006年4月1日 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 非常勤講師 (〇〇学) (現在に至る)

10. 「学会及び社会における活動等」欄

- ①自己の専攻、研究分野、所属学会等に関連した事項について記入してください。
- ②所属学会について、当該学会から退会している場合は退会日を、継続して所属している場合は「現在に至る」と明記してください。
- ③社会における活動とは、例えば、国・自治体等の審議会や委員会の委員を指します。

《記入例》

1979年4月1日 〇〇学会会員 (1992年3月31日まで)

1980年4月1日 〇〇学会会員 (現在に至る)

1997年4月1日 〇〇県〇〇委員会委員 (2000年3月31日まで)

11. 「資格等」欄

- ①当該教員の専攻、研究分野等に関連した資格等を記入してください。
- ②外国における資格については、正確に記入するとともに、その資格の内容について併記してください。

12. 「賞罰」欄

- ①学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。
- ②賞罰がない場合は、「なし」と記入してください。

13. その他

①履歴書の年月日は、本調書を実際に記入した年月日としてください。

## Ⅱ. 教育研究業績書

- ①「年月日」欄は、西暦で記入してください。
- ②「概要」欄は、事項ごとに、内容がわかるように200字程度（150字～250字）で記入してください。

### A. 「教育上の能力に関する事項」欄

#### 1. 「教育方法の実践例」欄

大学・短期大学・大学院などの高等教育機関において授業科目を担当している教員が、学生の理解を図るため、独自に開発・実践されている方法や新しく試された方法、工夫されている事項などを以下の（例）を参照に記入してください。

（例）

- ・ICT等を活用した授業方法
- ・学生の授業外における学習効果促進のための取り組み
- ・授業内容のWEB上での公開 など

#### 2. 「作成した教科書・教材」欄

教員が、学生の理解を図るために作成し、また、授業や教職指導などにおいて活用している教科書や教材の概要等を記入してください。なお、本欄に記入した事項が、「研究業績等に関する事項」において重複して記入される場合は、同一の内容を当該個所においても記入してください。その場合、「著書・学術論文等の名称」欄に『（再掲）』と明記してください。

#### 3. 「教育上の能力に関する大学等の評価」欄

教員が、学生の理解を図るために行っている教育上の取り組み（授業や教職指導などを通じた取り組み）に対する大学からの評価を以下の（例）を参照に記入してください。

（例）

- ・採用決定の際などにおける評価内容
- ・各大学における自己点検・自己評価での評価結果
- ・教員相互による評価結果
- ・学生による授業評価結果 など客観性があるもの

#### 4. 「実務家教員についての特記事項」欄

実務家教員についての特記事項を記入してください。

5. 「その他」欄

教員が、学生の理解を図るために行っている取り組みのうち、上記に該当しないものでも教育上の能力に関する事項に該当すると考えられる事項を以下の（例）を参照に記入してください。

（例）

- ・ 大学教育改善に関する団体等での活動の概要
- ・ 教育実践に関する表彰 など

B. 「職務上の実績に関する事項」欄

1. 「特許等」欄

取得した特許等の概要を記入してください。

2. 「実務家教員についての特記事項」欄

実務家教員についての特記事項を記入してください。

3. 「その他」欄

上記に該当しないものでも職務上の実績に関する事項に該当すると考えられる事項を以下の（例）を参照に記入してください。

（例）

- ・ 企業、官公庁等の研究者で大学との共同研究による研究業績がある場合、その概要・成果・本人の役割
- ・ 開発した新製品・製法などの概要
- ・ 大学から受け入れた実習生に対する指導歴（看護・福祉実習・企業実習等）
- ・ 企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要
- ・ 福祉その他社会的活動の関係者で参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位
- ・ スポーツ等実技関係者で指導者としての経歴・実績・資格

C. 「研究業績等に関する事項」欄

1. 「著書、学術論文等の名称」欄

- ① 著書・学術論文・学会発表・その他に区別し、その区分ごとに年代順に正式な名称を記入してください。なお、学会誌等に発表予定の研究業績については、その旨の証明書を添付してください。ただし、投稿予定のものは含まないので留意ください。

## ②著書

二人以上で執筆した場合も、担当執筆頁数の多少にかかわらず記入してください。その際、担当執筆部分は単著であっても「共著」として扱い、「名称」欄には、本の表題を記入し、担当執筆部分の名称は「概要」欄に記入してください。なお、その本がシリーズものの一部である場合はシリーズ名、当該巻数を付記してください。

## ③学術論文

論文集、学術雑誌、学会機関誌、研究報告、紀要等に「学術論文」として発表したもののみ記入してください。学位論文が単行本として刊行されているものでも「著書」の区分には入れず、「学術論文」の区分に入れ、当該論文の名称の下段に（博士論文）又は（修士論文）と記入してください。

## ④学会発表

学会レベルにおける口頭及び要旨発表等を記入してください。

## ⑤その他

著書・学術論文・口頭発表以外のものをいい、担当授業科目に関連する紀要、書評、翻訳書、報告書、教材や教育関係雑誌など、活字として発表された研究業績を記入してください。

## 2. 「単著共著の別」欄

- ①「著書」及び「学術論文」は、「単著」又は「共著」のいずれかで記入してください。
- ②「学会発表」は、「単独」又は「共同」のいずれかで記入してください。
- ③その他は、「単著」、「単独」、「共著」、「共同」のいずれかで記入してください。

## 3. 「発行又は発表の年月」欄

- ①発行又は発表の年月は、西暦で年代順に記入してください。
- ②学位論文については、大学から学位を授与された年月を記入してください。
- ③著書、学術論文等で発行または発表予定のものについては、その旨を明記してください。なお、必要に応じて出版社等からの証明書を提出いただく場合がありますので予めご了承ください。

## 4. 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」欄

- ①「著書」は、出版社名、巻、号、掲載ページを記入してください。
- ②「学術論文（学位論文を除く。）」は、学会名、雑誌名のほか、巻、号、掲載ページを記入してください。
- ③学位論文は、学位を授与された大学名を記入してください。

④「学会発表」は、学会大会名、開催場所等を次のように記入してください。

(例) ○○学会○○回大会

#### 5. 「概要」欄

①事項ごとに、形式的な内容（簡単な小見出しなど）ではなく、具体的な内容がわかるように200字程度（150字～250字）で記入してください。

②外国語で記述された業績であっても概要説明は日本語で記入してください。

③共著の場合は、全体の概要の他、担当部分の概要（内容、担当した章、節）及び掲載ページ（PP.○～○）を明記し、自己の氏名を含めた著者全員の氏名（フルネーム）を、当該業績に記載された順（ファースト、セカンドが判るよう）に記入してください。なお、自己の担当部分が明確にできない場合は「共同研究につき担当部分特定不可能」等記入してください。（5名以上になる場合は、本人を含め5名を記入した後、「他○○名」としても可）

④末尾に、著書は総ページ数、学術論文は掲載部分のページを記入してください。

《記入例》

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1. ○○○について      2. ○○○○○について	共著      単著	2004. 5. 15      2006. 5. 13	○○○出版社      ○○○○○出版社	○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○。 担当部分：第○章「○○」、第○章 「○○○○」について解説した。 (美作太郎、○○○○、○○○○、 ○○○○、○○○○、他3名) P P. ○○ ~ P P. ○○ 総ページ ○○ページ  ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○。 総ページ ○○ページ
(学術論文) 1. ○○○○について   2. ○○○○○○について	共著   共著	2005. 7. 23   2007. 7. 28	○○○○出版会   ○○出版会	○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○。 担当部分：○○○○○○ (美作太郎、○○○○) P P. ○○ ~ P P. ○○ 総ページ ○○ページ  ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○。 担当部分：共同研究につき担当部 分特定不可能 (美作太郎、○○○○、○○○○) 総ページ ○○ページ



(学会発表) 1. ○○○について	単独	2007. 11. 10	○○学会 第○○回大会 (○○大学)	○○○○○○○について、○○○ ○○○を発表した。
(その他) 1. ○○○著 「○○○○○」《翻訳書》	単著	2005. 1. 23	○○書店	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○。 総ページ○○ページ
2. ○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○《教材》	単著	2005. 3. 31	○○堂出版	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。 総ページ○○ページ
3. ○○○○○○《辞典》	共著	2006. 4. 10	○○書房	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。 総ページ○○ページ
4. ○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○《報告書》	単著	2006. 12. 14	全国○○連合会 第○回大会論文集	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○。 総ページ○○ページ

D. その他

- ①教育研究業績書の年月日は、本業績書を実際に記入した年月日としてください。
- ②教育現場での教育実践を行ってきた者で、新たに教職課程の担当教員になる場合は、大学教員として実践経験を理論として教授できる資質を有しているかどうかを審査する材料が必要であるため、博士論文や研究機関等での研究論文がない場合であっても、少なくとも紀要、報告書や教育関係雑誌などで実践経験に基づく研究成果を発表した業績等（いわゆる「研究紀要」「研究集録」「研究レポート」「実践レポート」「教育論文」等）を記入してください。なお、栄養に係る教育に関する科目の担当教員については学校給食関係雑誌、冊子等で実践経験に基づく研究成果を発表した業績等を記入してください。

以上